

<b>タイトル</b>	2021 年度 学校推薦型選抜 共同教育学部 保健体育専攻 面接・小論文問題
<b>評価の ポイント</b>	<p>(面接)</p> <p>教育および保健体育に関する基本的知識や課題に対する思考力、判断力、表現力等を評価した。評価に当たっては、次のような点を特に重視した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題に対する基礎的知識と理解度</li> <li>・論理性</li> <li>・表現力</li> <li>・将来性 (大学の学びに対して意欲的であるか)</li> </ul> <p>(小論文)</p> <p>保健体育に関する総合的な思考力、問題発見および解決能力等を評価した。評価に当たっては、次のような点を特に重視した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育授業における ICT 活用のねらいを理解し、それに対応した具体的な活用方法をあげている。</li> <li>・ICT を活用する際の「配慮すべき事項」を取り上げている。</li> <li>・内容 (記述内容の正確さ、発想の豊かさ等)</li> <li>・考察力 (考察の妥当性、深さ)</li> <li>・論理能力 (論理展開の正確さ、論旨の明確さ)</li> <li>・文章表現能力 (文章表現の豊かさ、正確さ)</li> </ul> <p>【解答例】</p> <p>GIGA スクール構想の実現に向けて1人1台端末環境を整えるとともに、ICT を活用した学習活動の充実が求められている。体育授業を効果的に進めるためには、①1人ひとりが課題を明確につかむことが欠かせない。しかし、自分の動きを自分で見ることはできず、その課題を把握することは難しい。そこで、ICT を活用して自分の動きを撮影し、友達の動きや見本の動きと見比べたりすることによって、自分の運動課題を見付けることができる。例えば、跳び箱運動の場合には、踏切の位置、着手の位置など、一瞬の動きを捉えることは難しい。そのような場合には、スローモーションでの再生や繰り返しでの再生を行うことで細かい部分まで観察することが可能となり、自分の動きの改善点を知ることができる。また、その撮影した映像を活用して、前時と本時の動きの比較や、学習前後の動きを比較することによって動きの高まりを見付け、②学習による成果を確認することができる。</p> <p>ICT を活用するにあたり配慮すべき事項としては、「どのような場面で」「どのように活用」するのかを明確にすることである。ICT を活用さえすれば、効果的な授業ができるというわけではない。ICT 機器の操作に多くの時間が費やされ、実際に運動する時間が減少すれば、運動技能を習得することは期待できない。ICT 機器を使うことによって体育授業の充実につながるように工夫することが重要である。(593 字)</p>